



2024-2025 Shari Rotary Club Bulletin

● 会長：森田 拓巳 ● 副会長：豊島 和敏、高木 寿一 ● 幹事：武藤 香苗
● 創立：1963 年 10 月 5 日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
● 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町 16-10
TEL(0152)22-1700

● 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotary@peach.plala.or.jp

第 2984 回例会 2025 年 5 月 21 日(水) 発行:会報・広報・雑誌委員会

点鐘：森田 拓巳 会長

司会：田中 啓二 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～森田 会長

・ライラセミナー参加青年 山崎 幸希 君 (野尻正武商店勤務)

2. ロータリーソング ～四つのテスト

3. 会長の時間 ～森田 会長

先週の例会とメールで今年度の規定審議会の決定書に目を通していただきましたが、どのような感想を持たれたでしょうか。RI ホームページの中でも人頭分担金の増額経過に触れられていましたので、今日はその内容を紹介させていただきます。

4 月 13 日～17 日に米国イリノイ州シカゴで開催された規定審議会では、人頭分担金の増額の承認と新クラブの加盟に必要な会員数を減らす立法案が承認されました。

今回、最も議論が交わされた立法案は、上昇するコストに対応するための人頭分担金の増額に関する提案です。国際ロータリーに会員が納める人頭分担金を 1 年目に 3 ドル 50 セント増額すること、さらにその後 2 年目と 3 年目に 3 ドル 75 セント増額されます。

審議会の初めに代表議員に提示された 5 年間の財務見通しによると、人頭分担金の増額が無い場合、RI は 2029-30 年度までに 4,200 万ドルの赤字を計上する見込みとなるそうです。ロータリーの方針では、バランスの取れた予算を維持することが求められています。人頭分担金によって、クラブ、会員、地区に不可欠な支援業務が提供されます。インフレによるコスト上昇が続く中、それに見合った分担金とする必要があり、今回の増額は 2024 年の物価上昇率を下回るものであることが主張されたことも可決の要因のようです。

しかし、反対派は増額が会員数の減少を招き、これがロータリーの生命線である会員基盤を損なうと指摘しました。日本をはじめとする代議員は、過去 10 年間会員数は減少傾向にあると述べ、人頭分担金の増額による会員減少は小規模クラブに最も打撃を与えることと、RI がより効率的な運営を求め、職員数を削減する必要があることを指摘しました。人頭分担金増額は 45 分間の議論と、この決議を延期する試みも提案されたようですが、原案通り可決されました。

我が斜里ロータリークラブは、この決定に対して反対票を 1 票投じる権利がありますが、今一度、規定審議会資料内容をご覧いただいて理事会にご意見いただければと思います。



4. 幹事報告 ～なし

5. 委員会、その他の報告 ～森田 会長

- ・鈴木 親睦活動副委員長～親睦委員会からです。5/31 (土) に「家族親睦夕食会」がごんた村豊倉店で行いますので、是非皆さんの参加をお待ちしています。家族の参加は 1 名 1,000 円ですが、ごご家族連れの参加をお待ちしていますのでよろしくお願いいたします。
- ・藤田 (典) 会員～5 月の家庭集会を本日 18:00 より「知床くまうし」で行います。11 名参加予定ですが、時間に遅れないようよろしくお願いいたします。

6. 本日のプログラム ～ライラセミナー参加報告

◆小野 青少年奉仕委員長～皆さん、お疲れ様です。

4/26 (土)～27 (日) の2日間にわたりましてライラセミナーに参加して来ました。当初、参加予定の青年は3名でしたが、1名が当日の2日前に体調不良ということで参加できず、2名の参加となりました。参加者の山崎 君に来ていただいておりますので、感想とか勉強になったことなどを発表していただければと思います。



◆山崎 幸希 君～2025年4月26日(土)・27日(日)
第41回ライラセミナー in 十勝
ランピングリゾート フェアリーエンドルフで開催
されました。

プログラムの流れとしては、元サッカー日本代表 城 彰二 さんの基調講演、グループディスカッション、懇親会、部屋での自由時間、グループ意見発表が主なセミナーの流れでした。

今回のディスカッションのテーマは「夢」を希望に変えていこう ～DEIの時代に生きる～ でした。意味は、ダイバシティ、エクイティ、インクルージョンの頭文字をとった言葉で、多様性を尊重し、公平な機会を提供することで、すべての人が活躍できる社会の実現を目指す考え方です。



先日、私はこの RYLA セミナーに参加し、多くの学びと楽しい時間を過ごしました。その中でも特に印象に残ったのは、「夢」についてのグループディスカッション、親睦会、そして4人部屋での自由時間でした。

夢とは、人が未来に向かって進むための道しるべであり、時に困難を乗り越える力を与えてくれます。RYLA のプログラムの中で、「夢」についてディスカッションをしたことで、私の夢に対する考え方が大きく変わりました。

ディスカッションでは、参加者それぞれが自分の夢を語り、その夢を実現するために何が必要なのかを議論しました。ある人はこれまでの陸上競技の経験を活かして子どもたちに指導し、その指導を仕事として成立させてお金をもらいたいという夢があり、また別の人は自分専用のテニスコートが欲しいなどと話していました。意見を交わす中で、夢の種類は違っても、その夢に対して真剣に向き合い、努力を続ける姿勢が共通していることに気づきました。

また、懇親会では仲間たちと楽しく交流する時間を過ごしました。炭火を囲みながら焼肉を楽しみ、共通の話題で盛り上がるうちに、初めて会った人とも自然に打ち解けることができました。普段の生活ではなかなか出会えない人たちと関わることで、自分の価値や可能性が広がるのを実感しました。

さらに、部屋の4人での交流も特別な思い出となりました。夜遅くまで語り合ったり、一緒に笑い合ったりする中で、信頼関係が深まりました。また、生活面ではお互いに協力し合い、快適な環境を作ることを心がけました。お風呂に入る順番、朝の準備を効率よく進めるために簡単なルールを決めたりしました。些細なことでも気遣い合うことで、心地よい共同生活が実現しました。この時間があったからこそ、RYLA での経験がより充実したものになったと感じます。

最後に私はこれまで、夢というものを幻想として捉えていました。しかし、ディスカッションを通じて夢は単なる希望ではなく、具体的な行動によって形作られるものだということを実感しました。夢を実現するためには、仕事、行動、時間、お金、そして目標と計画を立て、挑戦し続けることが不可欠であると思いました。そしてその過程で、周囲の人々と支え合いながら成長していくことができることを知りました。RYLA の経験を通じて、自分の目指す道を明確にし、その夢を叶えるために努力を続けていきたいと思っています。

◆鈴木 伯 君 (旭川トヨタ 勤務) ～レポートにて報告

～ライラセミナー参加してみて～

- 点鐘を始めて経験した。ロータリーの活動内容が国内だけではないことを知った。
- ポリオ撲滅運動や各募金や寄付等の大切さを知った。
- 城 彰二 氏 の講話の中で印象的だったことは、小さい頃はサッカーとは無縁で、野球に没頭していたが、ある時をきっかけにサッカーに種目を変更し、プロの道を歩むことになったことが、とても印象的だった。

総勢 45 名でのグループディスカッション ～夢～

- 5 グループに分かれてのグループディスカッションは、『夢』について ～ 小さい頃の自分の夢と今の自分の夢について話し合い語り合った。

① 夢を持つことは、生きるためのモチベーション

② 努力することによりたどり着くもの

③ 実現可能かどうかは未知数であること

※ 年代は近いものの、職場等の違い等で感性が変わり様々な考え方があったことが分かり、良い交流となった。

- 1 日半程の研修でしたが、異業種ということや初対面での交流ということもあり、あっという間に終わった気がする。実際参加してみると様々な職種、性格の人がいて、交流が苦手な自分にはとても刺激になった。懇親会のバーベキューも楽しかった。

7. ニコニコ BOX ～遠藤 親睦活動委員長

- 結婚記念祝～日下会員

8. 出席 報告 ～藤田(典) 出席・プログラム委員長

- 本日出席～28 名中 (出席免除会員 1 名含む) 16 名出席 (出席率 : 59.26 %)

☆幹事より次回例会の案内

- 次回は 5/31 (土) 第 2985 回例会～家族親睦夕食会 (担当 : 親睦活動委員会)

5 月 家庭集会

5/21 (水) 知床くまうし 11 名出席

今回は、日下 会員 の担当です。

日下 会員 による解説で「ロータリーとは」、
「ロータリアンの守るべき道」などロータリーの
基本について勉強しました。



2024-2025 国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

斜里 RC 会長のテーマ

奉仕は人の為ならず